

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査結果が公表されました。本校の特徴的な項目について以下のようにお知らせいたします。なお、本校では調査を受ける児童数が少ないことから、結果をそのまま学校全体の傾向としてとらえることは難しいのですが、今後の学習指導の改善に役立てる資料として活用していきます。

『調査の結果』

【各教科】

「国語A（主として知識）」

○内容の中心を明確にして詳しく書くことはよくできています。手紙の構成を理解して、適切な位置に必要なことを書くことに課題があります。漢字を書くことに課題がありますが読むことはよく定着しています。

「国語B（主として活用）」

○場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに課題がありますが、目的や意図に応じて、引用する文章を選び書くことはできています。

「算数A（主として知識）」

○わり算の答えを分数で表すなどの「数と計算」の領域に課題がありますが、二つの数の最小公倍数や立方体の面と面との位置関係などを求めることはよくできています。

「算数B（主として活用）」

○平均を求める式を選ぶことに課題がありますが、割合を表すグラフを選ぶことはできています。

【質問紙】

「できている項目」

- 朝食を食べることや決まった時間に起きるなどの基本的な生活習慣
- 最後までやり遂げてうれしかったことがある
- 友達の話最後まで聞いたり、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つ
- 学校で、友達に会うのが楽しい
- 学級のみんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- 友達との約束を守る
- 人が困っているときは、進んで助けている
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

「課題となる項目」

- 友達の前で自分の考えや意見を発表すること
- 家で、自分で計画を立てて勉強したり、予習、復習をすること

『今後に向けて』

【教科の結果から】

「国語」

- 朝学習の漢字ミニテストの取組を継続し、漢字の定着に努めます。
- 相違点や共通点を探すなどの目的を持って話したり聞いたりする活動を行っていきます。
- 目的や意図に応じて話す内容を考えたり、書いたりする場を増やします。
- 単元を通して、言語活動を意識した授業を実施します。

「算数」

- 考え方を交流し深め合う学び合いの場を授業の中に取り入れていきます。
- 習熟では、応用問題や活用問題にも取り組み、考えを深める活動を増やします。
- 単元に入る前には、関連する既習事項の復習を行って、必要な場合は復習をしてから単元に入ります。
- 単元終了後も繰り返し学習する場を設定し、学習内容の確実な定着を図ります。

【質問紙調査の結果から】

規則正しい生活習慣が身に付いていることや、規範意識や思いやりの心が育っており、友達と良い関係を築いていることで、落ち着いた態度で学校生活や授業に参加していることが分かります。家庭での学習習慣が更に付くと良いと思います。（家庭学習の時間のめやすとして、学年×10分+10分としています）また、読書の習慣も身に付くよう、学校でも取り組んでいます。

これからも、子どもたちの学習習慣、生活習慣がより良くなりますように、ご協力をよろしくお願い申し上げます。